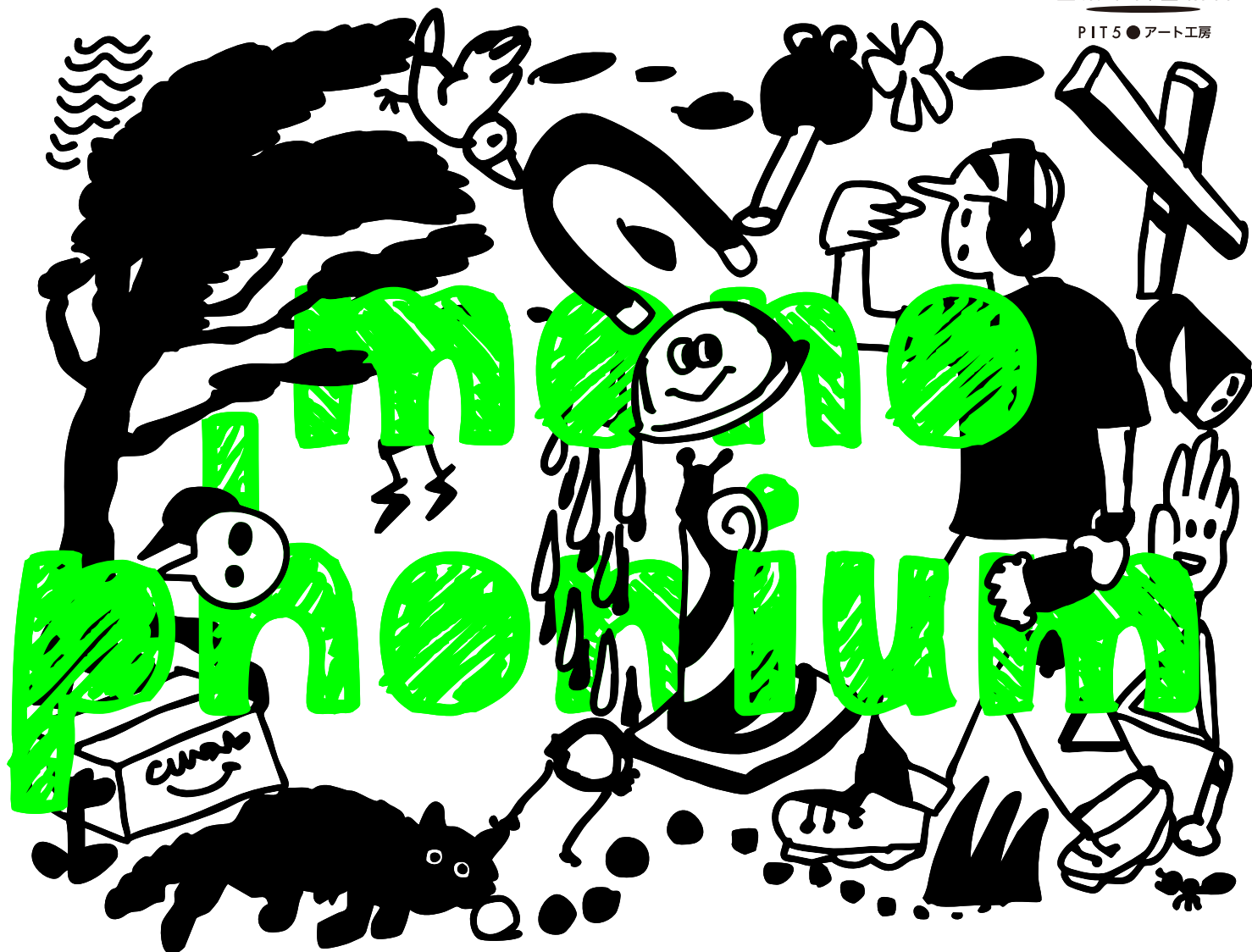




モノフォニウム 8/26 tue - 31 sun

音をひろい

フォニウム

モノを聞く

物

身のまわりの、音やモノの「質感」に
からだを預けてみる。

そんな中から生まれる偶然の
組み合わせや発見から
作品をつくってみませんか？

電磁石と様々な材料を使った
スピーカーの「工作」

フィールドレコーディングでの音の「採集」
「音」と「モノ」を通じてイメージを
再生させてみよう！

サウンドアートワークショップ



金沢市民芸術村PIT5アート工房

主催：金沢市民芸術村アクションプラン実行委員会（公益財団法人 金沢芸術創造財団、金沢市） 企画・担当：金沢市民芸術村 アート工房 菊谷達史、寺西由佳

これって音楽？ それとも美術？

ティーンズ・アートリエ化計画

サウンドアートワークショップ

たとえば君が、道ばたで風の音をスマホで録音したとする。
あるいは、公園のベンチで、海で、山の中で、
鳥の声や波の音、子どもたちの笑い声をこっそり残してみたら…

それは「音楽」になるのかな？

たぶん、ふつうの意味では音楽じゃないかもしれない。
でも、耳をすましてその音を聞いたとき、なにかを感じたり、
心が動いたりしたことをカタチとして残せることができれば…

それって、ちょっと「美術」っぽくない？

音とモノ、心が動く素材をあつめて、イメージをとらえてみよう

このワークショップでは、
「録音する＝ひろう」と「音を鳴らす＝つくる」
その両方を体験します。

音楽みたいでもあり、美術みたいでもあり、
だけどどっちでもなくていい。

音とモノと、自分とのつながりを感じてみよう！

音をひろいに行く

フィールドレコーディング

フィールドレコーディングは、
外に出て「その場にある音」を録音すること。

自然の中や街の中、どこにでもある音なんだけど、
気になる音を見つけてマイクでキャッチするんだ。

ピアノやギターのように「演奏する音」じゃなくて、
風の音、車の音、人の声、足音や鳥の声まで——
そんな「生きている音」が主役。

まるで「音を探しに行く旅」みたいな感じ！

2 集めた音とモノで 作品をつくる

サウンドアート

サウンドアートは、音を「作品の素材」として使うアート。

演奏とはちょっとちがって、音を空間に置いたり、
モノと組み合わせたりして表現するんだ。

芸術村にある素材と電磁石を組み合わせると
スピーカーを工作し、ひろい集めた「音」を鳴らしてみよう。

今回のワークショップではひろう音も、
つくるスピーカーも「作品の一部」。
全部が集まって1つの作品になるんだ！

どんなモノにどんな音を鳴ってもらおうか、イメージ！

3 発表する

インスタレーション / 作品展示

ただ作るだけでなく、
「どう置くか」「どう吊るすか」も表現になる。

音もモノも作品も！ぜんぶ「素材」として考えていこう。

耳だけでなく目も大事。
音・場所・形との関係を気にして展示してみよう。

講師 朝倉 毅 (あさくら つよし)

1998年 北海道札幌市生まれ。2023年 金沢美術工芸大学
大学院 修士課程 絵画専攻 油画コース 修了。現在、石川県
金沢市を拠点に活動しています。絵描き。

映像や多様な素材を起点に、絵画を中心とした表現を展開
しています。

物事のアウトライン、矩形、グリッド、自身の身体や状況と
の関係、相似といった要素に注目し、それらに徹底する構
造を探りながら、ユーモアを含んだ転倒や転回(展開)を試
み、また制作を身体と思考の変化の場として捉え、ジャンル
や形式といった定型な枠を越え／跨ぐような、広域的な
「治具(jig)」としての作品を制作しています。

撮影：方野公寛（十月のオクトパス） イラスト：菊谷達史

Kanazawa Citizen's Art Center
金沢市民芸術村
PIT5 ● アート工房

〒920-0046 金沢市大和町 1-1
TEL 076-265-8300
www.geimura.com
@geijyutsumura

ワークショップ
8/26 tue - 29 fri
9:00-16:00

※お昼休憩あり、昼食はご持参ください。

場所 金沢市民芸術村PIT5アート工房
対象 ティーンズ(10代ならどなたでも)
申込 アクションプランウェブサイトにて
Peatixよりお申し込みください
参加 1,000円

成果発表展 入場無料
8/30 sat - 31 sun
13:00-18:00

場所 金沢市民芸術村PIT5アート工房
対象 どなたでも

